

千年前の人が感じた季節は、どのようなものだろう

五年 組 番 ()

みなさん、へ春へ夏へ秋へ冬へそれぞれの季節で、好きなところや、良いなど思うことには、どのようなものがありますか。左のらんに書いてみましょう。

（春）さくらの花が咲いている。

（夏）セミの音が聞こえる。

（秋）お月見をして団子を食べる。

（冬）雪だるまを作る。

ノートにまとめましょう。

今からおよそ千年前、春について、このように書いた人がいました。教科書を参考にしながら、一度声に出して読んでみましょう。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、
すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなび
きたる。

（教科書36ページ）

これは、せいしょうなごん「清少納言」という人物が書いた、まくらのそうし『枕草子』という作品の書き出しです。清少納言は、春と聞いて、夜が明ける前の、だんだん明るくなっていく空の様子（あけぼの）を想ぞうしたみたいですね。それでは、他の季節については、どのように書かれてあるでしょうか。教科書を声に出して読み、清少納言が感じた季節を体験してみましょう。

（教科書80・126・180ページ）

- 夏は夜
- 秋は夕暮れ
- 冬はつとめて

という言葉が見つかりましたか。それぞれの季節で、清少納言の好きな時間帯が描き出されていることが分かりますね。

昔の人も、春の桜や秋の月を見て楽しんでいたみたいですが、清少納言が『枕草子』で表現した季節は、彼女のオリジナルな表現と言えます。

*つとめて：人々が起き始める早朝のこと

他にもある！ こんな話

わたしにとってかわいいなと思うものは、

- ・ウリにかかれた子ども顔
- ・鳴きまねをすると近寄ってくるスズメの子
- ・2歳くらいの小さな子が、ハイハイして来るときに、落ちているほこりを指にとって見せるすがた。
- ・あまそぎ(前髪ぱつつんショートヘア)の女の子が、首をかたむけてものを見つめる様子。
- ・小さな子どもなのに、立派な服を着て歩いている様子。
- ・小さな人形遊びの道具。
- ・小学生くらいの男の子が、漢字で書かれた本を読んでいる声。
- ・ニワトリのひなが、人や親どりの後ろについてまわる様子。

…などかしらね。

清少納言にとって、かわいらしいもの?!

【先生のオススメ!】

『マンガで楽しむ古典 枕草子』(ナツメ社)

『枕草子』をマンガで読める一冊！
とてもおもしろくて、読みやすいので、ぜひ一度本屋さんでさがしてみてくださいね!!

NHK for school

「おはなしのくにクラシック 枕草子 (清少納言)」は、十分くらいの動画だから、好きな時に手軽に観られるよ！
観られる人はぜひチェックしてみよう!